

第3回松田町地域公共交通会議 議事録

- 1 日 時 平成22年11月25日(木)13時30分から16時00分
- 2 場 所 松田町役場4階AB会議室
- 3 出席者 委員：別紙「委員等名簿」のとおり(23名出席・6名欠席)
※(欠席)表記者及び神奈川県松田警察署欠席
事務局 企画財政課企画係(鈴木係長、鍵和田主査)

「配布資料」

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・資料1 地域公共交通総合連携計画策定業務に伴うアンケート調査の概要
- ・資料2 地域公共交通総合連携計画策定業務に係る試験運行計画案について
- ・参考資料1 地域公共交通活性化・再生総合事業に関する事後評価について
- ・参考資料2 第2回松田町地域公共交通会議 議事録
- ・参考資料3 交通基本法と今後の地域公共交通のあり方

【概要】

司会進行(鈴木係長)

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 町長あいさつ
- 4 議 題
 - ・会 長 松田町地域公共交通会議を開催する。会議の成立要件として、地域公共交通会議設置要綱第6条第2項に基づき会議が成立することを報告。
 - ・事務局 配布資料の確認
 - ・事務局 松田町の地域公共交通の概況、問題点の確認
 - ・研究所 議題1「地域公共交通総合連携計画策定業務に伴うアンケート結果について」説明。
 - ・会 長 研究所からの説明が終わりましたが、質問等があるか確認した。
 - ・委 員 運賃について、どのようなアンケート結果が出ているか。
 - ・研究所 バスの運賃より少し安い程度、距離によって差がつく事はやむを得ない。又こちらからの提案のさじ加減に委ねている等の意見がある。
 - ・委 員 資料P2にある回収率について、寄地区は7割 神山地区は3割で差があるのは訪問回収をしたかしないかで生じたのか。
 - ・研究所 訪問か郵送かで生じたかと思われる。
 - ・委 員 トータルで6割の回収率というのは、かなり皆様のご意見が生かさ

れている。

- ・会 長 そういう意味では、自治会の方が回収に出向いたという事で感謝している。他に質問がないので議題1については終了させていただく。
- ・事務局 議題2「地域公共交通総合連携計画策定業務に係わる試験運行計画（案）について」説明。
- ・会 長 事務局からの説明が終わりましたが、質問等があるか確認した。
- ・委 員 「ゴルフ帰り便」という便名について、それに対する町民のイメージがあまり芳しくないと思われる。そんなに大勢の方がゴルフをして帰るとも思えない。
- ・事務局 便名については変更させていただく。
- ・課 長 問題はゴルファーをどう扱うかである。町民、秦野市民は事前に登
(委 員) 録するのに対し、ゴルファーは法人登録をして予約を受け付けるのか、ご意見をお聞かせ願いたい。
- ・委 員 持ち帰り至急お返事させていただく。
- ・課 長 太平洋クラブ相模コースさんでは、渋沢駅のみ送迎バスが出ている
(委 員) が中には、あさぎり号で帰りたいという方もいる。その為 JR 松田駅へ運行したいという考えもあるが、人数と不定期であるということで躊躇されている。小田原ゴルフクラブさんは、ドライバーが高齢化しつつあることや、バスが老朽化し採算が悪いという事で町のバスが運行されるのであれば、ぜひとのこと。町としても地域コースの一環として考えていきたい。
- ・委 員 時刻表についてだが、目的によって色々な経路があるので年寄りには分かりづらい。又、赤い線がデマンドバスの道順を表しているようだが、アンケート調査でも自宅の近くから乗車したいという意見が多かった。例えば、P2を見るとバスが萱沼地区の方へは行かないようなので地区の住民は萱沼入口バス停まで歩いていかななくてはならない。逆に街中では、新松田駅から役場へと細かく運転されているのはおかしい。
- ・課 長 これは、まだデマンドの実験中であり、どれだけのニーズがあるか
(委 員) 分からない。今現在、萱沼地区については小田原ゴルフクラブさんの送迎バスが好意的に地区住民の年寄りの方を下まで乗せてくれたり等もある。こういったニーズが実際あるので時間に余裕があれば回って行くというデマンド方式をとる考えはある。
運行表を見ると、上病院入口→新松田駅→松田駅から左に入る格好になっているが警察が OK しないのではないか。おそらく籠場→上病院入口→新松田駅入口→JR 松田駅で降ろして反転し新松田駅に行く。警察との協議でバス路線しか走れないのではないか。

- ・会 長 まだ警察との協議は済んでいないのか。
- ・事務局 これからです。
- ・会 長 松田駅をまわってから新松田へ行くルートから役場へ行く可能性はありますか。
- ・事務局 それはカバー出来る可能性はある。
- ・委 員 夜間、017、019の便は、萱沼、虫沢、田代の地区はまわってもらえないのか。
- ・事務局 015便は往路になっており、下の016便の復路と上下でセットになっている。
- ・委 員 駅から来る時、土佐原、虫沢、田代も通らないのか。
- ・事務局 基本ルートとして入れてはいいだけで実際、予約を入れていただければ可能。
- ・委 員 表の赤線で通行するのではないか。
- ・事務局 この赤線が基本ルートだが、ご連絡いただければ対応する。
- ・委 員 予約があればまわるという話だが停留所の時間が全部狂ってくるのではないか。
- ・課 長 上りも下りも要求によって寄っていくつもりで考えたい。そうなる(委 員)と時間は前後していく。
- ・事務局 そういう形をとらせていただくことがあるので今ある富士急さんのバスと比べて多少前後する可能性はある。
- ・事務局 基本は定時定路型である。「この時間に来てくれ」という要求には応じられない。あくまで路線に入っている時刻内を基点にする。更に予約もしてもらうという形でご理解いただきたい。
- ・会 長 これはデマンドバスなので要求が第一である。大きくは赤字で記された路線でいくが要求があればそこもまわる。そういう意味では多少時間が狂ってくる可能性はあるが余裕を持たせて運行している事でご理解いただきたい。この表を見てお年寄りが分かりやすいかという質問についてはいかがか。
- ・事務局 見やすくすると1枚で終わらなくなる事もあるが、今あった意見をふまえて分かる形をとりたい。新松田駅、JR松田駅、富士急バス等のPRをしながら広報の方に努めていきたいと考えている。
- ・課 長 虫沢の長寿橋あたりで反転するのではないか。
- ・事務局 警察との協議で、それぞれのバスの停留所、新松田駅、萱沼地区等について変更させていただきたいと考えている。最終的には12月の広報において分かるようにしたい。
- ・委 員 予約は行き帰り共にするのか。
- ・事務局 「お電話一本、便利で安心誰でも使える公共交通」という中で定時

型を含めた電話予約・要求をしていただき社会実験もする。平成 23 年 1 月 4 日(火)から小型バスを使ったデマンドバスの乗り方については、事業所さんへ利用の 3 日前から前日(8:30~16:00)までに予約する。名前、電話番号、利用したい日時、乗るバス停、降りるバス停、人数を伝えていただく。ご利用には事前の登録が必要である。平日運行を考えている。通学の方を優先させたいが、あくまでも、原則である。乗り合いのため若干の時間のずれはある。問い合わせについては企画財政課事務局の電話番号を記載して進めていきたいと思う。

- ・委員 小型バスを使うにあたり定員は設けるのか。
- ・課長 実験事業はバス一台で県に申請しているが予算の変更を議会に通し
(委員) ハーブ館に上がるショートバス(19 人乗り)を使用する事も考えている。
- ・事務局 次の議題の中で、運行の委託について話をさせていただくが、もしご承認が得られれば事業所さんが所有している 20 人乗りの小型バスを使用する。
- ・委員 松田から戻る時には手に荷物を持つ方が多くなる。もし立ち見席ができれば、お年寄りが出入りする際、危ないと思われるので全員が座れるようにしていただきたい。
- ・委員 他の地域の事例を参考にお話させていただくと、企画が決まりましたら大至急 県警さんと協議をされた方がいい。
- ・委員 (土)(日)は通常の路線バスが運行されるのか。
- ・事務局 ネーミングを募集しバスに大きく掲げる予定。既存のバスは運行される。
- ・課長 今回の 3 ヶ月は、あくまでも実験である。平日のデータを把握し運
(委員) 行に生かしていきたい。
- ・委員 早朝でもバスは行ってもらえるのか。
- ・課長 実験してみたての結果をみて考えるしかない。
(委員)
- ・会長 時間変更等の企画課への要望は期限があるのか。
- ・事務局 12 月 3 日までをお願いしたい。基本の出発時間は、町民アンケートを参考に時間設定したので、他にニーズがあればこちらで調整していきたい。ただ路線の時刻内より大きく外れた時間に関しては申し訳無いが対応出来ない。
- ・会長 他に質問が無ければ、議題 2 の案を消していただいて議題 3 に進む。
- ・事務局 議題 3 「地域公共交通総合連携計画策定業務に係る試験運行事業の委託について」説明。

- ・課長 委託業者については、富士急バスさんと協議中であり決定ではない。
(委員) 12月6日の議会にかける予定。
- ・会長 富士急湘南バスさんをお願いする予定ではあるが、議会の承認を得る事が前提である。地域公共交通会議で運行するので富士急さんの名前が隠れるようバスに看板等でラッピングする予定。
- ・委員 ネーミングの募集はどういった方法で行われるのか。
- ・事務局 広報等で広く一般の方に周知していただき応募していただく。時間の都合上、事務局と会長一任にさせていただきたい。
- ・会長 広報で公募し、こちらで決めさせていただき事をご承認していただきたい。他に質問があるか確認。なかったので議題3については終了させていただく。
- ・事務局 参考資料について説明。
- ・運輸局 本調査事業に関しては年内までの部分について1次的にこの協議会において事後評価をいただく。関東運輸局の方に報告し、それに基づいて有識者等で構成する委員会で2次評価が行われる。その結果をアドバイスという形で公共交通会議に出される。再度、最終的な連携計画を、お作りいただく流れである。
- ・事務局 引き続き参考資料について説明。
- ・運輸局 交通基本法と今後の地域公共交通のあり方について説明。
- ・会長 質問等があるか確認。
- ・課長 デマンドバスのルートについて確認。
- ・事務局 神山上→神山滝・神山中→神山上・神山下→神山中・神山→神山下でお願いしたい。
- ・会長 予算についてだが、実証実験のあと3年は額が2倍になるという事で十分に期待してよろしいか。
- ・運輸局 あくまで予算として要求している段階。地域公共交通だけではなくバリアフリー等、いろいろなものも含まれている。12月初旬にも評価がでてくるので、そこが第一の関門かと思われる。アンケートや実証実験についての結果が予算に反映されると思われる。
- ・会長 他に質問があるか確認。
- ・事務局 県外視察と第4回会議について説明。
- ・運輸局 スケジュールについて、12月一杯までの事後評価の報告をお願いしたい。
- ・副会長より閉会のあいさつ